



ライフドアすわ通信



ライフドアすわ 諏訪市地域医療・介護連携推進センター（平日8:30-17:00）

ホームページ <http://www.lifedoor-suwa.jp/>

住所 〒392-0027 諏訪市湖岸通り5-12-5（諏訪市医師会館1階）

TEL 0266-78-0477

FAX 0266-78-0478

メール info@lifedoor-suwa.jp

受講料 無料
ライフドアすわ開所6周年
記念講演会のお知らせ

『人生の終わりは自分で決める』



人生100年時代、最後まで自分が望む生活を送るために必要なことは？自分が大切にしたいことを誰に伝えますか？

長年にわたり在宅医療に取り組まれる杉山敦先生のお話から皆さんと一緒に考えます。

- 日時 8月5日(土)午後2時～4時
- 会場 諏訪市総合福祉センター交流ひろば
- 内容 第1部 地域医療と地域包括ケアシステム ACP(人生会議)・リビングウイルはなぜ大切な 杉山外科医院院長 杉山 敦先生



第2部 諏訪市版リビングウイルについて 人生会議(ACP)ワーキンググループ
松本医院院長 松本宙明先生
湖南関医院院長 関 元博先生

- 定員 100名(先着順)
- 申込 8月2日(水)までに電話かQRコードからお申し込みください。



「ライフドアすわ」は、これらの問題を解決するため、小松郁俊元センター長、宮坂圭一前センター長らにより開設され、6周年を迎えることが出来ました。医療、介護の問題を、地域で包括的に解決していく取り組み、「地域包括ケアシステム」のプラットフォームの役割を担っています。「ライフドアすわ」の目的事業は、1在宅医療・介護連携、2生活支援体制整備、3認知症施策推進、4地域ケア会議推進の4事業です。

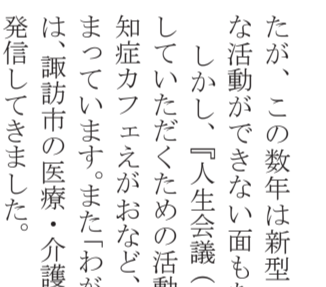
市民の皆様方には、「ライフドアすわ」に希望される事がございましたら、ご意見を戴きたいと思っております。また、医療・介護について困った事が起きたら、気軽に「ライフドアすわ」の扉を叩いて下さることを切に期待しております。

このような事業も、地域包括支援センター、日赤、社協との連携とともに、歯科医師会、薬剤師会、介護施設、民生委員をはじめ市民の方々のご理解があり、ここまで来られたと思っております。また、共に働いてきました矢崎副センター長、関事務部長とスタッフの皆さん、松本宙明先生、関元博先生等医師会の先生方にお世話になりました。これからは小島洋二センター長のもとさらなる発展を期待しています。



問題と言われ始めて久しいのですが、医療、介護の現場ではコロナ禍以前よりガラガラと大きな足音が聞こえ始め、コロナにより更に様々な問題が顕著化してきました。

これからの「ライフドアすわ」のスタッフとともに、多職種連携の強化医療・介護の問題点の共有、改善、認知症の相談を介して、医療・介護保険システムへの誘導、認知症カフェなどが、出前講座を実施してまいります。更に、地域包括支援センターの諏訪市見守りネットワーク事業、社会福祉協議会のかりんちゃんバス無料乗車体験の協力を継続していきたいと思っております。そして地域の方々と一緒に考えて行きたい問題として、自分自身の最後を踏まえて受けた医療・介護を考える機会を「人生会議(ACP)」を「諏訪市版・リビングウイル」について考えましようとして展開していく予定です。



遂げてきました。大きな発展を遂げてきました。活動ができない面もありました。しかし、『人生会議(ACP)』を理解していただくための活動、出前講座、認知症カフェなどが、新しい試みも始まっています。また「わが街で暮らす」では、諏訪市の医療・介護について情報を発信してまいりました。

就任にあたって

センター長 小島 洋二

平成29年4月より「ライフドアすわ」が小松郁俊センター長のもと、大きな発展を遂げてきました。活動ができない面もありました。しかし、『人生会議(ACP)』を理解していただくための活動、出前講座、認知症カフェなどが、新しい試みも始まっています。また「わが街で暮らす」では、諏訪市の医療・介護について情報を発信してまいりました。

「ライフドアすわ」は6周年を迎えました。命をつなぐ扉(ライフドアすわ)をよろしく願います。

退任にあたって

前センター長 宮坂 圭一

この数年は新型コロナウイルス禍で十分な活動ができていない面もありました。しかし、『人生会議(ACP)』を理解していただくための活動、出前講座、認知症カフェなどが、新しい試みも始まっています。また「わが街で暮らす」では、諏訪市の医療・介護について情報を発信してまいりました。



【6月16日 第1回協議体】

協議体 支え合いやサロン活動など、すでにある地域の情報を共有したり、将来に向けて「自分たちの街をどのような地域にしたいか」について、ライフドアすわの生活支援コーディネーターが中心となって、自治会やボランティア、老人クラブや民生委員などさまざまな主体が参加し、話し合います。

お互いに知り合い、アイデアを出し合い、活動同士のコラボレーションや見守り活動、居場所づくりなど、その地域ならではの支え合いの仕組みづくりを進めます。

6月に行われた第1回協議体では、コロナときめく盛りだくさんのアイデアが提案されました。秋に開催する第2回協議体では、実現に向けてさらに具体的な話し合いを行う予定です。

このため、地域包括支援センターとライフドアすわ、社会福祉協議会の3者が協力し、地域の力を結集するための仕組みづくりが始まっています。

- 諏訪医師会の役員が交代しました。よろしく願っています。
- センター長 小島 洋二先生
センター長代理 松本 宙明先生
担当理事 関 元博先生
相談役 小松 郁俊先生
宮坂 圭一先生

ライフドアすわ医師会役員

- 時間 午後1時30分～3時
- 場所 総合福祉センター交流ひろば
- 期日 8月24日(木)・11月16日(木) 2月15日(木)

「本人が望む暮らしを支えるために」のように介護保険サービスを組み合わせ提供するかから、「本人のしたい」にできるようになりたい」を叶えるための『自立支援型ケアマネジメント』を目標に、個別ケア会議で検討された事例をもとに「アセスメント」に基づき、その人に必要な場所やサービスを、介護保険に限定せず幅広く探し組み合わせる介護予防ケアマネジメント」の話し合いを行います。

医療・介護に関わる専門多職種が知恵を出し合い、お互いに役割をはみ出して市民を支えるネットワークづくりを進め、さらに「こんな仕組みやサービスがあったらいいな」といった政策提案につなげていきます。

次回以降の予定は次のとおりです。



【5月18日 地域包括ケア推進会議】

協議体と地域包括ケア推進会議
「地域を語り、地域をつくる新たな取り組みが始まりました」